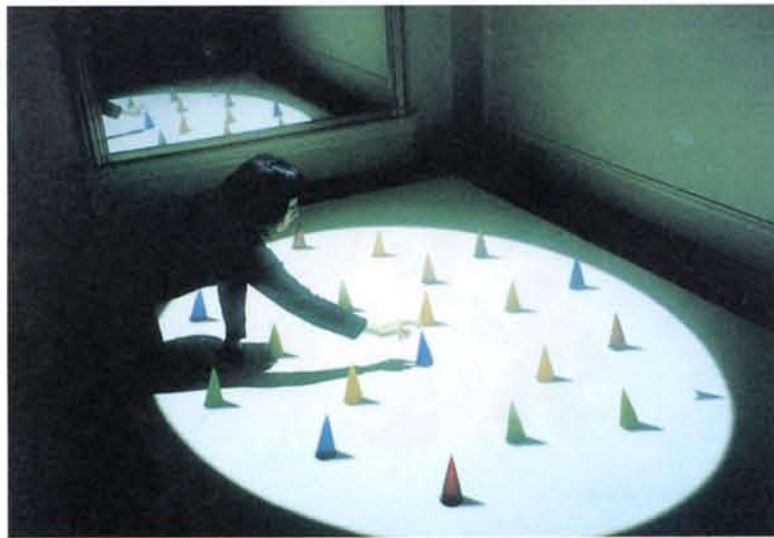




影 — 写像としての世界
KAGE - Shadows, Projected Images
11.28 saturday, 1998 - 1.24 sunday, 1999

光 — 仮想としての世界
HIKARI - Lights, Virtual Images
1.29 friday - 3.24 wednesday, 1999



影 — 写像としての世界 KAGE - Shadows, Projected Images
1998年11月28日(土) - 1999年1月24日(日)
光 — 仮想としての世界 HIKARI - Lights, Virtual Images
1999年1月29日(金) - 1999年3月24日(水)

〔出品作家・資料〕

近森 基+久納鏡子 Motoshi Chikamori + Kyoko Kunoh
クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョノー Christa Sommerer & Laurent Mignonneau

ヨーロッパのマジック・ランタン 日本 風呂(幻灯機) 各種の種板
ヨーロッパの影絵芝居 影絵人形 影絵カード アジアの影絵人形 リトファニー各種
透かし絵 影絵・写し絵に関する書籍 仕掛け種板 写し糸資料 他

〔講演会・関連上映会等のお知らせ〕

講演会「光と影のイメージを楽しむ」

講師=岡戸敏幸(日本美術史) 草原真知子(神戸大学助教授・メディア
ゲスト=エルキ・フータモ(映像メディア史・予定)
日時=1999年2月27日(土) 午後1時-
会場=写真美術館1階ホール(入場無料、先着200名)

ファンタスマゴリア(魔術幻灯)再現上映

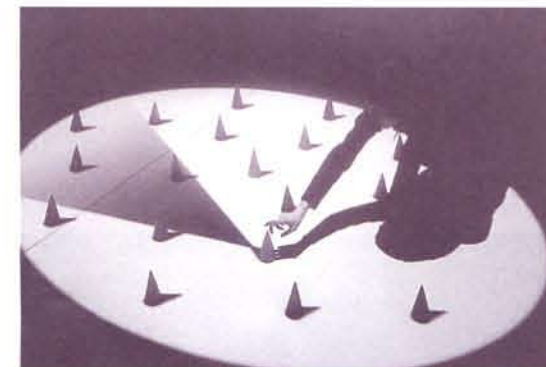
日時=会期中、毎時30分より連続上映(約15分)
会場=地下1階 映像展示室

学芸員によるフロア・レクチャー

日時=毎月第2日曜日 午後2時-

関連上映会「Into ANIMATION II -ふたたびアニメーションの世界へ!」

企画・協力=日本アニメーション協会
日時=1999年3月6・7日(土・日) 11:30 - 3月13・14日(土・日) 11:30 -
会場=写真美術館1階ホール(入場無料、各回先着200名)



近森 基+久納鏡子「KAGE」
© 1998 Motoshi Chikamori + Kyoko Kunoh

主催=東京都写真美術館
会場=地下1階映像展示室
観覧料=一般 500(400)円 小・中・高校生 250(200)円
都内の小・中学生は、映像工夫館展(常設展も含む)のみ無料になります。
()内は20名以上の団体料金
企画展との共通観覧料=一般 1000(800)円/学生 800円/小・中・高校生 500(400)円
小学生未満、65歳以上の方、および障害のある方とその介護の方1名は無料になります。
学生の方は学生証をご提示ください。
開館時間=10:00-18:00(木・金曜日は20:00まで)入館は閉館の30分前まで
休館日=毎週月曜日(休館日が祝日または振替休日の場合はその翌日)

「イメージ」を形にするために、錯覚や遠近法を通してイリュージョンを創り出すア
プローチだけでなく、光と影を用いて幻影を出現させるアプローチもまた古くから続けられ
ています。映像工夫館では、開催中のテーマ展「イメージという魔術 後期：影絵と写
し絵」で幻影装置としての影絵や写し絵を特集するとともに、会期中盤から作品展のシ
リーズを並行して開催し、広汎な「イメージ」の世界を考察します。また本展では、18世
紀の魔術幻灯「ファンタスマゴリア」の再現上映、日本の影絵・写し絵に関する貴重な作
品資料の展示、光と影のイメージの面白さを探る上映・講演会、アニメーション作品等
を紹介する関連上映会を開催します。

作品展「影—写像としての世界」では、「影」をテーマに展開する現代のインタラクティ
ヴ・アート作品を紹介します。近森 基+久納鏡子によるインスタレーション作品
「KAGE」は、床から生えたたくさんの小さな三角錐に触れると、その影が勝手に動きだ
したり、魚や飛行機の姿がシルエットとして現れたりするユニークなインタラクティブ作
品です。「KAGE」と、歴史的な映像装置(収蔵品)とを対比させて展示することによって、
写し出された映像としての世界を体験的に紹介します。

作品展「光—仮想としての世界」では、引き続き展示される「KAGE」に加えて、「光」を
テーマに展開する現代作品を紹介します。クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョノーに
よるインスタレーション作品「Phototropy」は、海外のメディア展でも数多く紹介され、
高く評価された人工生命(A-life)作品です。暗い部屋に入って、懐中電灯で壁を照らすと、
CGで描かれた蝶たちが現れ、光の軌跡を追いかけてます。光を消すと彼らは生命を失っ
てしまいます。また、日本の影絵に関する貴重な資料を併せて紹介します。

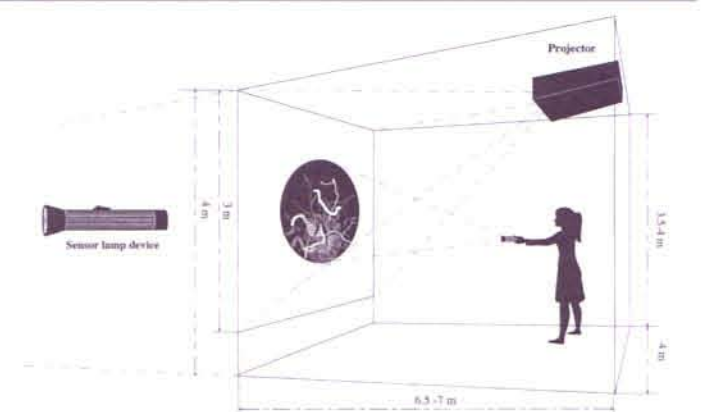
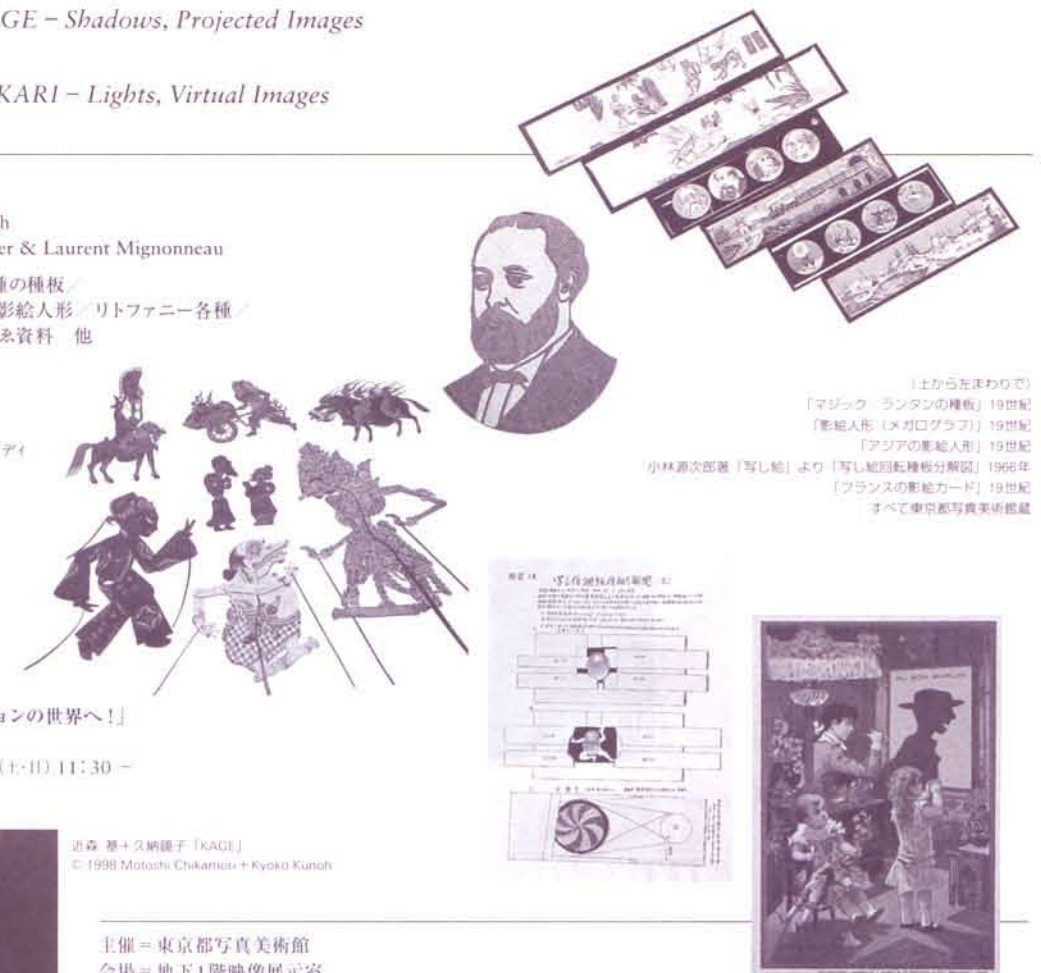
本展は、歴史的資料と現代作品の対比、講演や関連上映会、魔術幻灯の再現などの多
様なイメージを通して、日本人の日常の中にも古くからあって親しまれていたはずの「光
と影」をもう一度楽しく体験し、考えてみようという試みです。

〔観覧会のご案内〕
企画展「日本列島クワニクニ—東松明の50年」1999年2月6日(土)—4月4日(日) 常設展「視覚の回廊」第4部(集められた肖像)1999年1月5日(火)—3月24日(水)



東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3
Tel. (03) 3280-0031 Fax. (03) 3280-0033
ハローダイヤル (03) 3272-8600
インターネット http://www.tokyo-photo-museum.or.jp



クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョノー「Phototropy」
©1994 Christa Sommerer & Laurent Mignonneau

(チラシ表 上)
近森 基+久納鏡子「KAGE」
© 1998 Motoshi Chikamori + Kyoko Kunoh
(下)
クリスタ・ソムラー&ロラン・ミニョノー「Phototropy」
© Christa Sommerer & Laurent Mignonneau
© The Council for the International Biennale in Nagoya
Photo Akira Otake



交通機関=JR恵比寿駅より徒歩7分(恵比寿ガーデンプレイス内)
お車での来館はご遠慮下さい。